

指定管理者制度活用事業 評価シート(養護老人ホーム)

1. 基本事項

施設名称	恵楽園	評価対象年度	平成25年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 川崎聖風福祉会 ・代表者名 理事長 佐々木 元行 ・住所 川崎区池上新町3-1-8	評価者	高齢者事業推進課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

2. 事業実績

利用実績	①養護老人ホーム事業(入所定員 140人) 在籍者数 812人(平成26年3月31日現在:入院等不在者を含む)								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
	延べ利用者数	108	106	106	107	107	105		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月		
延べ利用者数	105	105	105	105	106	104			
利用実績	②通所介護事業(通所定員 30人/日) 年間延べ利用者数 5,813人:定員に対する稼働率 76.8%								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
	延べ利用者数	505	539	490	558	522	497		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月		
延べ利用者数	524	536	410	416	383	433			
利用実績	③居宅介護支援事業 給付管理者数(平成26年3月分)								
	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計	
	管理者数	163	221	117	62	16	0	579	
収支実績	①養護老人ホーム事業							(単位:円)	
	(収入)							(支出)	
	指定管理料収入	258,306,000						人件費	130,448,680
	利用者等利用料収入	0						事業費	44,315,543
	その他の事業収入	934,675						事務費	86,915,547
	合計	259,240,675						合計	261,679,770
								(収支差額)	
								▲ 2,439,095	
	②通所介護事業・居宅介護支援事業								
	(収入)							(支出)	
	介護保険収入	52,933,099						人件費	41,557,941
	利用者等利用料収入	0						事業費	4,101,644
その他の事業収入	7,341,048						事務費	7,477,001	
合計	60,274,147						合計	53,136,586	
							(収支差額)		
							7,137,561		
収支実績								(収入)	
	介護保険収入	311,239,099						(支出)	
	利用者等利用料収入	0						人件費	172,006,621
	その他の事業収入	8,275,723						事業費	48,417,187
	合計	319,514,822						事務費	94,392,548
								合計	314,816,356
								(収支差額)	
								4,698,466	
	サービス向上の取組	職員の資質向上のために国家資格の取得を奨励した結果、昨年度に続き、2名が介護福祉士に合格した。							
		これまで、一部の入所者を対象としていた嚙下体操を、全入所者が関わるきっかけのための環境整備を行い、ADLの低下防止に努めている。 また、入所者が楽しめるイベント実施に向けた工夫、取り組みを行っている。							

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
適正な業務実施	質の高いサービスの提供	利用者のニーズに合わせたサービス提供が行われているか	10	4	8
		利用者等への情報提供等は十分に行われているか			
		地域交流(行事の開催やボランティアの受入等)を積極的に行っているか			
感染症対策	感染症への対策は適切に行われているか	10	4	8	
	(評価の理由) 希望者全員が参加可能な日帰りバスハイク回数の増加及び内容の充実を図るなど、入所者にとって有意義な余暇活動の実施に取り組んでいる。 また、利用者のうち、要支援・要介護認定者の増加やADLの低下が進んでいる状況において、これまでは、集會室等に来る一部の入所者を対象としていた嚙下体操を、全館放送を活用し、入所者全員が取り組める環境の整備を行った。(入所者の80%強が参加) 通所介護事業においては、リハビリ活動の強化を目的に、音楽療法を導入するなど、利用者のADLの改善に努める運営がなされた。 また、利用者の状況等については、利用者個人の連絡ノートを作成し、家族との共有化に努めている。 感染症対策については、感染症マニュアル等に基づいた適切な対応を行い、また、学習会を開催し、最新の情報を取得、関係者への共有化を図っている。				

収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	5	3	3
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			
(評価の理由) 当初計画を上回る収入実績となっているが、養護老人ホーム事業において収支差額がマイナスとなっている。 金銭管理、会計手続については、適正に処理がなされている。					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが協定や事業計画等に基づいて適切に提供されたか	10	3	6
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
	業務改善によるサービス向上	サービス向上のための取り組みがなされているか	10	4	8
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	10	4	8
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)			
利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか					
(評価の理由) 精神疾患や認知症の入所者を、主に日中の生活支援の充実を図るため、必要な介護サービス等につなげる等の支援を行っている。 食事に関しては、毎月開催の給食会議による関係者の意見交換、検討を重ね、季節を感じられるようメニューを工夫するなど、多くの入所者が喜びを感じられている。 また、虐待に関しては、入所者及び職員の各々に対してアンケート調査を実施しており、特に、職員に対しては、法人作成の虐待防止マニュアルに基づく勉強会を実施することで、入所に対する言葉遣い、態度、介助時の必要な配慮などの習得に役立てており、ケアの向上に努めている。 通所介護事業において、看護師2名を配置し、胃ろうやインシュリン注射など、医療的ケアの必要な方についても、積極的に受入を行っている。					
組織管理体制	適正な管理体制の構築	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
		定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
		再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	10	4	8
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		事故等が発生した場合における報告等の体制は適切か			
	コンプライアンス	実際に事故等が発生した場合の対応は適切であったか。また、再発防止の取り組みがなされたか	5	3	3
法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか					
(評価の理由) 認知機能が低下している入所者に対し、福祉事務所との連携を密にしなが、後見人制度の利用の支援を行っている。 正規職員の昇給・昇格の条件等を明確にして、モチベーションや仕事に対する意識の向上を図っている。また、非常勤職員における昇給制度の平成26年度導入に向けて、現場職員との調整等を行っている。 建物の管理については、自主点検を含めた点検業務を実施しながら、適正に遂行している。 また、災害時を想定し、非常食や飲料水を分散備蓄し、様々な災害状況を想定し、缶詰や調理不要の食材を各150食分用意している。 事故等の対応については、ヒヤリハットを含め、記録を残すとともに、事故発生対策会議を開催し、原因究明、事項防止に努めている。 個人情報については、適切に管理されている。					
適正な施設管理	施設・設備の保守管理、清掃、警備等	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	10	3	6
		業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
		施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
		施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
		外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
		設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
(評価の理由) 設備については、点検を行うとともに、故障の場合には、入所者への影響をの度合いを考慮し、必要な修繕を行っている。 また、地域の方を警備員として直接雇用し、地域との連携を含め、安全対策に取り組んでいる。					

4. 総合評価

評価点合計	71	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

ADLの低下、日常生活に支障がでるほどの認知症や精神疾患、嚥下障害、歩行困難な入所者等の増加傾向が見られる中、飲み込み筋肉の改善等を図るための嚥下体操の積極的な取り組みなど、入所者等の状態の改善に向けた取り組みがなされていた。
また、入所者等が喜びを感じられる食事の提供や、有意義な余暇活動等イベントの企画に取り組むなど、入所者等の意思を尊重しながら、各種事業を効果的に実施している。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

指導事項等なし。